

高い技術力で『金型救急救命センター』として地域を支え次世代に向けた新たな挑戦を続ける

顧客本位と品質を第一に、超精密金型製造の高い技術力で多様な金型の販売からフォローアップまでワンストップで提供。地域未来牽引企業等も含めた近隣事業所へ技術指導を行い、社内外を問わず後進の育成に取り組む。また、その技術力で、昼夜を分かたず、短期間で、設計書の有無に関わらず金型を再生させることから、顧客から『金型救急救命センター』と称されている。新技術への挑戦、新製品の開発に力を入れ、次世代へバトンを繋ぐべく奮闘している。

所在地 福岡県直方市植木1245-15
 電話/FAX 0949-29-5670/0949-29-5671
 URL <https://www.cosmoutil.jp/>
 代表者 代表取締役 池上 英俊

設立 1994年
 資本金 300万円
 従業員数 6人



アフターフォローへの取組による技術力向上と販路拡大

同社は、主に携帯電話やPC等のコネクタに係る超精密金型を製造している。耐久性に優れ、高品質な金型を提供するとともに、金型は消耗品であるとの一般認識を打破すべく、アフターフォロー（修繕）を積極的に行っている。金型修繕では自社製品のみならず他社製品についての依頼にも対応、多様な金型に触れることで、創業20数年にして金型製造の技術力は100年企業の域に達する。また、納品先と継続的に関係を持つことは、新製品開発時の金型引合いや新規顧客の獲得にもつながっている。



様々な金型修繕に対応

高い技術力とネットワークで地域経済に貢献

同社では、設計書がない場合であっても、熟練された技術力を持って脳裏に図面を浮かべ、レーザー溶接・研削・放電加工を行い、短期間で金型の修繕が可能である。製造ラインへの影響を短期間で解消できるため、顧客のなかでは金型業界の救急救命センターと呼称されることもある。2017年7月豪雨など災害が発生した際には、支援ネットワークを構築、地域のサプライチェーン維持にも寄与している。また、近隣の地域未来牽引企業にも技術指導を行い、同社の技術を地域経済の発展に広く役立てている。



サプライチェーン維持支援

次世代にバトンを繋ぐ、異分野進出と新製品開発

既存顧客に向け耐久性に優れた高品質の金型製造を行う一方、後継者への事業承継を見据え新製品開発にも着手している。九州大学との共同開発では、内臓切除手術等で用いる異形ワイヤの製造に成功。特許を取得し、医療機器製造分野での販路開拓を検討。また、水素ステーションの安全性向上を視野に、九州大学等と連携し、金型技術を応用した爆発防止装置の開発を行う方向で調整を進めている。また、従業員が消費者とのつながりを感じ、誇りをもって働けるよう、一般消費者向け自社商品の開発も検討している。



自社開発中の製品